

## スポーツでまちづくり！ 北上市アウトドアフォーラム

北上市アウトドアフォーラム(スポーツリンク北上主催)は12日、プランニュー北上で開催されました。同フォーラムでは、市内のアウトドアスポーツコースをまとめたガイドブック「北上アウトドアツーリズム」について、コースを監修したオリンピックメダリストの有森裕子さんらが各コースの魅力を紹介。「マラニック」(マラソンとピクニックを合わせた造語)コースを監修した有森さんは「雪が積もっても走りやすいコース。多くの人に楽しんでほしい」とPRしました。

有森さんらが各コースの魅力などについて熱く語りました



習志野市の状況などについて講演を行う吉川さん

## 良い未来のまちをつくろう 建築物最適化計画スタートアップ市民集会

建築物最適化計画スタートアップ市民集会は1月31日、市民交流プラザで開催されました。同集会は、公共施設の老朽化や人口減少、少子高齢化に備え、今ある施設を賢く使い、効果的・効率的に活用する方法をみんなで考えるために行われたものです。講演では、習志野市職員の吉川清志さんから同市の事例が紹介されたほか、日本大学の広田直行教授が「自治体のみではなく、住民一人一人が考え、参加していくことが必要」と語り、参加者らと共通理解を深めました。

## 27年の歴史に幕 北上市民スキー大会

北上市民スキー大会(北上市体育協会主催)は、1月28日に北上総合運動公園で距離競技、2月18日に夏油高原スキー場で大回転競技が行われました。大回転競技では、出場者79人がスキー・スノーボードのタイムを競いました。小学校4年生男子の部で1位となった千田泰瑠くん(黒沢尻西小)は「初めて1位を取れてうれしい」と話していました。27回目を迎えた同大会は、今大会が最後となります。来年以降は北上市スキー協会が大会運営を担っていく予定です。

吹雪の中、出場者らは日ごろの練習の成果を発揮していました



鬼とオニオンくんが園児たちとふれあいました

## 鬼は外！福は内！ 第18回遊鬼まつり「鬼の訪問」

第18回遊鬼まつり「鬼の訪問」は2日、市内13カ所の児童施設などで行われました。同まつりは、鬼剣舞などが伝承されてきた「鬼すむ町・北上」のイメージを次世代を担う子どもたちに伝えることを目的に毎年開催。北上青年会議所などから50人が鬼として各所を訪問し、子どもたちとふれあいました。おにやなぎ保育園では、訪れた鬼たちとオニオンくんが園児らと玉入れなどのゲームを楽しみました。同園の及川寧々ちゃん(6歳)は「笑い鬼が楽しかった」と笑顔で話していました。

## 保存食の作り方を学ぶ 保存食づくり

保存食づくり(北上市森林クラブ主催)は1月28日、北上市憩いの森で行われました。元高校教諭の菅原敏夫さんが、食品の保存方法についての講義後、「きゅうりのつくだ煮」の加工方法を参加者に指導しました。きゅうりは通常長期保存ができませんが、しょうゆや酢、砂糖などを入れてつくだ煮にすることで、冷蔵で1年ほど保存できます。参加した新谷典子さん(堤ヶ丘)は「きゅうりのつくだ煮を作りたいと思っていた。簡単に作れておいしい」と話していました。

参加者らは各班に分かれ、きゅうりのつくだ煮を作りました



エンジンカッターでコンクリートに切り込みを入れ、開口部を作る消防職員

## 壁の向こうの命を救う 北上地区消防組合ブリーチング訓練

北上地区消防組合ブリーチング訓練は、1月22日と23日、中川ヒューム管工業株式会社北上工場(菊池孝幸工場長)で行われました。ブリーチングとは、大規模災害時、倒壊などでコンクリート建造物に人が閉じ込められた際、救助のための開口部(進入口)を作ることです。訓練は、同社の協力を受け実施。中に人が閉じ込められているという想定のもと、消防職員らはエンジンカッターなどの使用方法などを確認しながら、慎重にコンクリートに開口部を作っていました。

## 更木産米からうま〜い酒 さらき新酒を味わう会

さらき新酒を味わう会は4日、さらきの里ふれあいセンターで行われました。「さらき」は更木産のひとめぼれを原料にした日本酒で、昨年から販売されています。同会では、地元の皆さんや市内の飲食店関係者など57人が参加し、新酒を味わいました。醸造を担ったのは有限会社月の輪酒造店(紫波町)で、飲み飽きない酒になるよう心がけて作ったとのこと。参加した小田島恭二さん(65歳・更木)は「去年の酒と比べより酒らしい味で飲み飽きない」と新酒を堪能していました。

参加者らは純米吟醸酒「さらき」を味わいました



宇土代表取締役が市を訪れ、認定について報告しました

## 高いブランド力で認定 株式会社ユーティーオー企業価値認定

カシミヤ專業の株式会社ユーティーオー(宇土寿和代表取締役)は、企業価値認定を受け8日、市へ認定を報告しました。企業価値認定とは、企業が持つ特徴的な価値を評価し、それを認定する制度。同社は、国内生産が3%を切った繊維業界で貴重なニット作りを行い、国内初のニットのカスタムオーダー販売を行うなどの特徴が評価され、認定を受けました。同社はふるさと北上応援寄付の返礼品企業でもあり、26年度以降、事業者別の寄付金額では1位となっています。